

令和 7 年 7 月 18 日

未来の大工を育てたい——塩釜職業訓練校が小学生向け木工教室を開催 ～ものづくり体験を通して地域と若い世代をつなぐ～

令和 7 年 7 月 27 日（日）、塩釜職業訓練校（宮城県塩竈市）では、地域貢献と次世代育成を目的とした小学生向け木工教室を開催いたします。教室では子どもたちが実際に木材を加工してものづくりを体験。完成した作品は夏休みの宿題として持ち帰ることができるため、自由研究としても人気の高い内容となっています。

この教室は、建設業の仕事や技術に対する関心を子どもたちに持ってもらうきっかけとなることを目指しています。将来的には、「ものをつくる」楽しさややりがいを知った子どもたちが、大工や建設の道を志すきっかけとなることを期待しています。



■地域の力を結集して支える取り組み

今回の教室は、塩釜職業訓練校の講師だけでなく、塩釜市・多賀城市・利府町・七ヶ浜町・松島町の建設組合青年部のボランティアの協力により運営されます。地域の建設業に携わる人々が力を合わせ、子どもたちの体験の場を支えています。

■深刻化する担い手不足 未来への危機感

現在、塩釜職業訓練校への入校者は極めて少なく、今年度の新入生はわずか 1 名という状況です。これは訓練校だけでなく、地域全体の建設業界が抱える共通の課題でもあります。地域の工務店では若い人材の確保が喫緊の課題となっています。どの工務店も若手の職人を求めています、なかなか新しい人材が入ってこないという現実があります。

近年、技術革新により、手作業で木材を刻むといった伝統的な技術の需要が減少しています。この木工教室を通して、子どもたちや保護者の方々に建設業のおもしろさや必要性を感じてもらい、職人として働くという選択肢を考えるきっかけとなることを願っています。

■報道関係の皆様へ

木工教室は、ただの体験イベントではなく、地域の建設業界と未来の若者をつなぐ「第一歩」となる活動です。ぜひ取材・報道を通じて、この活動と現場の声を多くの方々に届けていただけますと幸いです。

【本件に関するお問い合わせ先】 職業訓練法人 塩釜建設技能者訓練協会

[担当者名]

[電話番号]

各種リンク

